

2016年9月28日～10月2日

「雪氷研究大会（2016・名古屋）」を開催

2016年9月28日から10月2日にかけて、「雪氷研究大会（2016・名古屋）」（共催：環境学研究科、後援：愛知県教育委員会、名古屋市教育委員会）が豊田講堂と野依記念学術交流会館で開催された。10月1日まで4日間は400名を超える（公社）日本雪氷学会および日本雪工学会の会員により、雪と氷をキーワードに、地球温暖化に伴う環境変動から、自然災害、さらには工学に至る幅広い内容について、口頭とポスターを合わせて計324件の研究発表と質疑応答が行われた。また10月2日にはアウトリーチの一環として、公開講演会「中谷宇吉郎は“雪は天から送られた手紙”だけなのか？ -中谷宇吉郎、雪氷災害研究に果たした知られざる役割-」と「極地からの緊急報告！ -温暖化がすすむ南極とグリーンランドに迫る-」、さらには公開イベント「雪氷楽会 in 名古屋-名古屋に極地がやってくる！-」、「子どもと雪氷を楽しむ会 -雪と氷の不思議を体験しよう-」が開催され、こちらにも800名近くの参加者があった。

